

ツリークライミング in 学校林



2013年1月26日(土) 附属中の生徒約20人が**学校林**で、森林体験講座に参加した。ツリークライミングによる樹形調査や間伐木の選定などが行われた。中でも、**10m近い樹木の頂上**までロープで登っていくツリークライミングがスリル満点の体験だった。

専用のロープやサドル(安全带)などを身につけ、木に登って樹形を観察し、樹が元気かどうか、樹の勢いを調べるのが、ツリークライミングの本来の目的である。しかし、高い樹上から森を見ると、**今までとは違う視点**から物が見えてくる。そこが、ツリークライミングの面白さなのだろう。「五感を使い、樹上の自然を体感すると新しい発見がある」そうだ。

ところで、右上の写真で樹のてっぺん近くにいる人物は**だれ?** 高さ10mというと校舎の3階くらいである。3階の高さからロープだけで下りてくるのは、どんな感じだろうか。K先生は、しきりに「**怖い**」と言っていたが、慣れてくると病みつきになってしまうらしい。

